

あなたとともに

友田たもつ

県政レポート (Vol.24)

Vol.2417-3月

編集・発行

友田たもつ事務所
(〒750-0014)

下関市岬之町8番16号コーエービル2F
TEL.083-231-8080
FAX.083-233-9250

●メールアドレス●

tomodatomotu@viola.ocn.ne.jp



～将来にわたって活力ある地域づくりの推進～

〈山口県新年度予算概算〉

*全国都市緑化やまぐちフェア開催事業(101,187千円)

緑豊かな潤いのあるまちづくりを一層加速化するため、第35回全国都市緑化やまぐちフェア(愛称:山口ゆめ花博)の開催に向け、実行委員会による開催準備を実施します。

◎山口ゆめ花博の概要

- 明治150年記念事業の一環として実施
- 自治体・企業・団体・県民の参加により、山口県の未来へ向かうエネルギーを高めることに挑戦します。
- 他の記念事業や観光キャンペーン等とも連携し、観光振興にもつなげていきます。

- 開催テーマ 山口から開花する、未来への種まき。～150年を振り返り、次の150年につなぐ～
- 主催者 山口県・山口市・(公財)都市緑化機構
- 開催期間 平成30年9月14日(金)～11月4日(日)52日間
- 会場 山口きらら博記念公園
- 来場者数 30万人以上目標

◎29年度取組内容

- 実施計画策定(会場運営、交通輸送、行催事、広報等) ○会場実施設計等

*全国都市緑化やまぐちフェア開催事業(20,000千円)

山口ゆめ花博を契機に、新たな観光資源の創出、観光地域づくりを加速させ、本県への誘客拡大を図ります。

- 広告宣伝ツール作成、新聞広告、広告看板設置等

*都市緑化普及促進事業(22,758千円)

山口ゆめ花博を契機に、県民参加による緑化活動の促進を図るとともに、都市公園において、緑化ボランティア活動団体を育成し、自主的かつ継続的な活動の定着を目指します。

- 県民参加プログラム会議による、山口ゆめ花博での県民参加事業の検討・推進
- 緑化ボランティア活動団体の育成



山口ゆめ花博

明治150年記念事業/第35回全国都市緑化やまぐちフェア
2018年9月14日(金)～11月4日(日)



フェア会場 山口から花・緑・公園の新しい魅力がはじまります。

- 山口の県民・企業・団体が、未来への可能性を持ち寄って、花・緑・公園の新しい魅力にあふれたプログラムを開発します。
- それらのプログラムが、山口きらら博記念公園の素晴らしい環境をさらに輝かせ、花と緑がつくる美しい景観と心豊かな暮らしの未来提案を楽しむことはもちろん、ファミリーにはここならではの遊びを存分に満喫していただきます。

1.花の谷ゾーン

圧倒的な大花壇が彩る驚きの景観

山口県が新しく開発したオリジナルの花々も大花壇を彩ります。国際的な賞を受賞した花や初公開の花もご覧いただけます。



3.遊びの海辺ゾーン

海の遊びにチャレンジする体験

海や浜辺のフィールドを活用し、楽しい様々なイベントやプログラムを体験していただけます。



5.2050年の森ゾーン

未来の森へ木々が育つ時間を体験

植樹祭で植えた木々が育ちつつある様子を皆さんにご覧いただき、未来の森を考えます。



2.冒険の丘ゾーン

親子で楽しむ新しい遊びを体験

太陽の丘の樹々や地形を活用して、ファミリーにここならではの遊びを楽しんでいただけます。



4.庭のパビリオンゾーン

親子で楽しむ新しい遊びを体験

県民・企業・団体などによる花・緑・公園を利用した魅力あふれる新しい生活提案が集まります。



6.海の大草原ゾーン

日本最大級の芝生広場が広がる新しい遊びに挑戦

大草原の魅力を活かして、ここならではのプログラムを開発し体験していただけます。



【資料提供】第35回全国都市緑化やまぐちフェア実行委員会事務局

ごあいさつ

山口県議会議員
議会運営委員長 友田 たもつ

今年も桜の開花予報を耳にする時期となり、春の訪れが待ちどろしく感じる今日この頃ですが、皆様方には、ご健勝にお過ごしのこととお慶び申し上げます。

さて年明け早々の一月八日に、山口県議会の議長、畑原基成氏が急逝されました。現職の議長が亡くなったのは県議会史上初めてのことですが、私としても永年の盟友でもあり、六十二歳の若さでの突然の訃報に愕然とした次第であります。心より哀悼の意を表します。

そして、後任の議長には周防大島町選出の柳居俊学県議が選出されました。柳居新議長は、畑原氏が就任される前の二期に亘って議長を務められてお二二年ぶりの返り咲きとなりました。

現在、山口県が抱える大きな課題として岩国米軍基地の問題があります。岩国基地への空母艦載機の移駐の件で、もし計画どおり六十二機の航空機が岩国基地に移動することになると、合計百二十機もの航空機が駐留する事になり、日本国内で最大規模の米軍基地となるわけであり、

現在、国との話し合いの中で、移駐の是非をめぐり様々な意見の交換がなされているところであります。この取りまとめ役となる議長には調整力が必要とされ、柳居議員の経験と手腕を買われての議長就任となりました。

議長という職務は議会運営はもとより、自由民主党の山口県連とも密接な関係を保ち、政務党務その両方を取り仕切らなくてはなりません。そのためには議会運営の勉強や実績を積み、また党の三役を経験して様々なノウハウを体得した議長でなくては到底、県議会そして山口県連の統率は出来ないので。私も今回の議長を見習って、しっかりと実績と経験を踏んで更なる飛躍に繋げたいと思っております。

私ごとではありますが、本年、無事『還暦』を迎えることができました。政治家としてのキャリアは三十四年になりますが、年齢的にもようやくベテランの域に到達して来たかなと実感しております。これからも体調に留意して、この下関、そして山口県を「活力ある街」にするために粉骨砕身、精進して参る所存であります。皆様方の変わらぬ温かいご支援をいただきます様、お願い申し上げます。

編集後記

今年下関での初めての公職選挙である「下関市長選挙」が三月十二日に行われました。このレポートが皆様方のお手元に届く頃には、既に結果が出ていることと思います。

思い起こせば、八年前、「もつと豊かな下関のために」意を決して臨んだ市長選挙でしたが、連年なく撃沈した苦い過去を思い出しました。その時のスタッフの多くが今回、新人候補の選挙戦に携わって、八年前の鬱憤を晴らすか如く奔走していました。

この編集作業もその想いを馳せながら行いました。当の本人も選対責任者として議会中も時間を惜しまず応援してまいりました。いずれにせよ、今のままの下関で良い苦はない事は市民全員の共通認識であると思えます。

安倍政権の延長が予測される中、下関市政↓山口県政↑国政のハイブリットとして強い連携の取れる体制づくりが必要と考えます。『還暦』を迎えて、志なお道半ば、議員の更なる飛躍に期待して皆様方と一緒に支援の輪を広げていきたいと思います。

